

児童発達支援事業 支援プログラム

作成日 2025年3月1日

事業所名	社会福祉法人安曇野福祉協会 多機能型事業所やまびこ学園
法人(事業所)理念	多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援すること及び児童が心身ともに健やかに育成されることを目的とする。
支援方針	通園児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、当該通園児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。
営業時間	開園日：月曜日から金曜日までとする。 ●毎土曜日・日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日、 その他理事長が別に定める日は休業日とする。 開園時間：午前9時00分から午後1時00分
送迎実施の有無	無し

支 援 内 容

健康・生活	I. 心身の健康や生活に関する領域 ①健康状態の維持・改善 ②生活リズムや生週間の形成 ③基本的生活スキルの獲得	◎健康状態の維持や改善、基本的生活スキルの習得、ADLスキル獲得を支援します。 ◇日常生活動作に関わる支援(手洗い・更衣・排泄) ◇持ち物の管理(ロッカー・リュック・タオル・コップ) ◇マナーやルール(挨拶・順番・譲り合い)
運動・感覚	II. 運動や感覚に関する領域 ①姿勢と運動・動作の向上 ②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 ③保有する感覚の総合的な活用	◎さまざまな身体の感覚や感触を刺激し、運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感などの発達を促します。 ◇感覚統合・サーキット (体操・巧技台・ウレタンブロック・ウェイブ・トランポリン・ブランコ・ハンモック) ◇食具やはさみなどの道具を用いた支援 ◇歩行訓練(体操・理学療法)

<p>認知・行動</p>	<p>Ⅲ. 認知と行動に関する領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 認知の発達と行動の習得 ② 空間・時間・数等の概念形成の習得 ③ 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 空間や物の概念形成を促し、適切な距離や行動の習得を支援します。 ◇ 空間認知 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体を動かす遊び(追いかっこ・すべり台・ボールや風船遊び・自転車など) ・ 立体的な物を作る遊び(折り紙・積み木・パズル) ・ 空間を意識した声掛け(上下・左右・前後など、物の位置方向/大きい・小さい/荷物を詰める時の声掛けなど) ◇ 文字や数字 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字と数字を意識し、活動に取り入れる(歌・リズム・絵本・手遊び等) ◇ 概念の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の中に概念の中身を意識し取り入れる(色・時間・数字・大小・長短・大きさ・空間・位置・形など) ・ 違いを見つける/同じを見つける/同じをまとめる ◇ 認知行動へのアプローチ <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活リズムを整える ・ 喜びや達成感を感じる行動を増やす工夫 ・ 行動に移しやすい環境を整える(行動の活性化) ・ ストレスと上手く付き合えるような関り
<p>言語 コミュニケーション</p>	<p>Ⅳ. 言語・コミュニケーションの獲得に関する領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 言語の形成と活用 ② 言語の受容及び表出 ③ コミュニケーションの基礎的能力の向上 ④ コミュニケーション手段の選択と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 要求・模倣・注目・追視など、円滑なコミュニケーションスキルの獲得を促します。 ◇ オノマトペなどの言葉遊び <ul style="list-style-type: none"> * オノマトペとは: 音・動作・感情を模倣して表現すること(擬声語) ・ 絵本の読み聞かせ ・ 歌やリズム遊び ・ 動物になりきって遊ぶ ◇ 行動の観察 <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動と結果に対する対応 ・ 行動の結果「よいこと」が得られ、行動が起きやすくなる強化 ・ 行動の結果「嫌なこと」が起きて、行動が起きにくくなる弱化 ・ 強化されていた行動の強化を中止させる方法を消去

人間関係 社会性	V. 人との関わりに関する領域 ①他社との関り(人間関係)の形成 ②自己の理解と行動の調整 ③仲間づくりと集団への参加	◎順番や役割、ルール、感情のコントロールなど社会生活に適応するために必要なスキルの獲得を支援します。 ◇ルールやマナーの経験 ・遊びや活動を通して意識する (ちょうだい・待つ・順番・交代・貸すなど) ◇ごっこ遊び(協同遊び) ・ままごと/電車ごっこ/お店屋さんごっこ/大人のまねっこ等
家族支援	・ペアレントトレーニング(年中・年長児対象) ・おしゃべり会(保護者同士の繋がり深化) ・ことばの学習会 ・面談を通しての相談・助言 ・下のきょうだいの預け先がない場合は、期間を決め職員が託児を行う ・専門家による訓練(理学療法・作業療法・言語聴覚)	
移行支援	・入園した年に、認定こども園への訪問をし、情報共有と連携を図る ・支援会議への参加	
地域支援・地域連携	・子どもが通う認定こども園等との情報連携や支援方法に関する相談援助 ・認定こども園の担当者からの相談があれば、訓練の見学と相談を行う ・自治体で開催される連絡会議に出席	
職員の質の向上	・職員研修(療育/保育/医療/感染症/虐待/身体拘束/災害/安全など) ・外部研修を受講した職員からの伝達研修 ・職員会議(ケース検討/情報共有)	
主な行事等	・園外保育(バスハイク) ・食育 ・歯科衛生指導 ・季節等に合わせた活動(母の日/父の日/水遊び/お祭りごっこ/クリスマス/節分/バレンタインデー/雛祭りなど)	